

# IoP(Internet of Plants)で進む 高知県の農業DX

※デジタルトランスフォーメーションの略  
データとデジタル技術を活用して、製品/サービス、  
人/組織の業務などを変革すること



県では、生産者のハウス内環境データや出荷データなど、施設園芸に関わるさまざまな情報をデータ連携基盤「IoPクラウド」に集積し、それらを分析・可視化して営農に生かすことで、高い生産性と収益性を実現するデータ駆動型農業を推進しています。

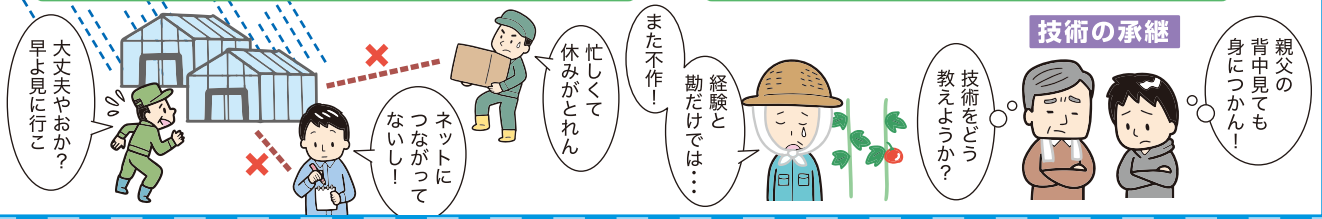
この取り組みにより、高知県の農業DXを進め、「もっと楽しく、もっと楽に、もっと儲かる農業」を実現し、生産者の所得向上と担い手の確保・育成につなげていきます。

## 「もっと楽しく、もっと楽に、もっと儲かる農業」を実現！

現在

- ハウスまで行かないと、ハウス内の状況を確認できない。
- 天気、市況・・・いろんな情報を手間なく入手したい。
- 仲間と一緒に技術を高め合いたい・・・。

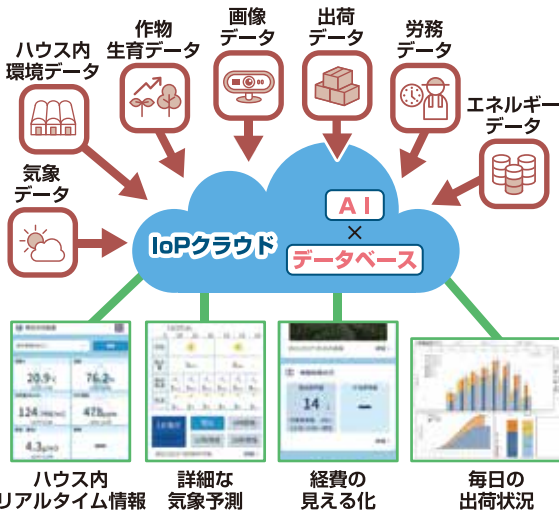
- 毎年失敗。原因がわからない・・・。
- 単価の高い時にもっと出荷したい・・・。
- 後継者に技術をどう伝えていこうか・・・。



## IoPクラウドの構築とデータ駆動型農業の推進

将来イメージ

データ共有基盤「IoPクラウド」を構築  
さまざまなデータを収集・蓄積！



IoPクラウドに集積されたデータを  
指導員が分析・可視化



「経験と勘」だけではなく  
データに基づいた、  
的確かつ迅速な指導を実施！



メリット

### IoPクラウドの活用により

- ハウスに行かなくても状況確認が可能となり、労力を軽減！
- 篤農家技術の共有などにより、技術レベルが向上！
- 生産者自らデータ駆動型農業を実践！

### データに基づく営農支援により

- 年間を通じた安定的な生産で売上アップ！
- 効率的な栽培管理でエネルギーコストなどを削減！
- 技術の承継やレベルアップを早期に実現！

省力化

所得向上

